

令和6年度 第3回神奈川県立生田高等学校学校運営協議会結果

本校の学校運営協議会を次のとおり開催した。

審議会等名称	神奈川県立生田高等学校学校運営協議会
開催日時	令和7年3月10日(月)15時00分～16時30分
開催場所	神奈川県立生田高等学校小会議室
出席者 (役職名)	<p>学校運営協議会委員</p> <p>山内 みずき (本校PTA会長)</p> <p>深澤 倫子 (明治大学理工学部教務主任・応用化学科・教授)</p> <p>中村 隆英 (川崎市立生田中学校長)</p> <p>布川 勝也 (本校校長)</p> <p>(以下、書面(※)による参加)</p> <p>菅原 隆宏 (川崎市立稗原小学校長)</p> <p>脇本 健弘 (横浜国立大学教職大学院准教授)</p> <p>原山 修 (多摩区長沢商店会長)</p> <p>米山 福吉 (多摩区長沢地区自治会長)</p> <p>(※ここまで)</p> <p>本校職員</p> <p>細川 諭 (副校長)</p> <p>杉山 崇裕 (教頭)</p> <p>檜垣 桜子 (事務長)</p> <p>根津 玲子 (総括教諭・学習支援グループリーダー)</p> <p>鯨吉 剛 (総括教諭・研究開発グループリーダー)</p> <p>牧野 篤敬 (総括教諭・管理・運営グループリーダー)</p> <p>森安 翔 (記録 教諭・研究開発グループ)</p>
次回開催予定日	令和7年6月
問合せ先	<p>担当者名 神奈川県立生田高等学校 研究開発グループ 鯨吉 剛</p> <p>電話番号 044-977-3800</p> <p>FAX番号 044-976-9398</p>
審議(会議)経過	<p>開会(副校長)</p> <p>○学校運営協議会の成立について</p> <p>・委員の出席が4名であり、過半数に満たない状況であるが、他4名の委員にはご意見をいただき書面開催の形式にさせていただいた。本日は、対面と書面開催を併せて行うことで成立とさせていただきたい。</p> <p>1 校長挨拶</p> <p>・お忙しい中、ご参加いただき感謝する。</p> <p>・入学者選抜、卒業式を無事終え、25日(火)に修了式、離任式を予定している。</p> <p>・本日は令和6年度の目標設定に係る実施状況について報告をさせ</p>

ていただく。皆様にはそのことについてのご質問だけでなく、評価もいただきたい。

- ・本校の取組の中心にあるのが、SSH（スーパーサイエンスハイスクール）を目指す理数教育推進であるので、その説明もさせていただく。
- ・SSHについては、令和7年12月に文部科学省に申請することになる。

## 2 協議

### (1) 令和6年度学校評価に係る実施報告について

- ・資料に基づき、各グループより説明を行った。  
(委員より)
- ・1人1台端末はタッチペンを使うだけでなく、キーボードで入力する機会はあるのか。  
→キーボードで入力する生徒もいれば、タッチペンで資料に直接書き込む生徒もいる。
- ・ICTの活用を推進することで、理系や情報系の進路を希望する人が多くなる傾向などはあるか。  
→今のところ進路に影響は出ていない。あくまでもタッチペンの導入などは文房具の一種という考えである。
- ・1学年が実施した「学年・クラス懇談会」にはどのくらいの保護者が参加したのか。  
→約半数の保護者に参加していただいた。
- ・さらなる自転車運転の向上と交通事故防止の指導をお願いしたい。
- ・地域貢献活動では、全生徒による地域美化活動や長沢にこここハーモニーの会場提供等で協力していただいた。

### (2) 令和6年度理数教育推進に係る実施報告について

- ・研究授業・互見授業や教員向け研修会を行った。
- ・昨年に引き続き高大連携として生徒が明治大学の特別講座を受講した。
- ・KSP（かながわサイエンスパーク）やKISTEC（神奈川県立産業技術総合研究所）と連携を図り、探究活動のアドバイスをいただくとともに、自然科学教室「光触媒ワークショップ」の開催に協力していただいた。
- ・探究活動では各自で選んだテーマを研究し、レポートを作成した。今後研究発表会を実施する。
- ・希望者を対象として「海の生物観察会」、「丹沢森林ボランティア」、「ムササビ観察会」等の自然科学教室を実施した。
- ・科学部は11月に神奈川県理科部研究発表大会に参加し、奨励賞をいただいた。また、3月に京都大学で実施された森里海シンポジウムに参加し、発表を行う予定である。
- ・一般生徒から参加者を募り、科学の甲子園に初出場した。
- ・令和8年度から開始される「理数探究」の実施について具体を検討していくとともに、SSHの申請・指定に向けて、引き続き理数教育の推進に取り組んでいく。

### (3) 生徒による授業評価アンケート結果について

- ・3年間の結果の推移から考察し、改善に向けた具体的な手立てや、実例を伴うような実践を各教科で検討している。

	<p>(4)「魅力と特色ある県立高校づくりについてのアンケート」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生活を振り返って、生田高校に「満足している」、「どちらかといえば満足している」と回答したのは、生徒・保護者ともに95%を超えている。さらに、社会的・職業的自立のために必要な能力が身に付いたと思うか、思考力・判断力・表現力を高めることができたと思うかの項目にも「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した割合が高い。</li> <li>・1人1台端末活用についてと保護者との情報交換や連携の項目で課題が見られた。今後、PTAや地域、外部機関と連携した活動を活性化させ、開かれた教育活動を実現していくことが必要である。</li> </ul> <p>(委員より)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先生方が地道に取り組んだことが成果に現れたと感じた。</li> <li>・高大連携については、1年生以外でも希望があれば参加していただける。興味のあるテーマだけでも構わないので、ぜひ参加を推進してほしい。</li> </ul> <p>(校長より)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・DXハイスクールやオフィス改善等も活かしてSSHの指定につなげていく。</li> <li>・令和7年度からは2学期制となるため、2学期制のメリットを活かした教育課程の運用を行っていく。</li> </ul> <p>3 その他</p> <p>(1) オフィス改善について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料に基づき、教頭より説明を行った。</li> </ul> <p>閉会 (会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度このような形で学校に関わることができ、大変勉強になった。</li> <li>・引き続き来年度もよろしく願います。</li> </ul>
--	--